

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市沖野老人福祉センター		
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 15,432人（前年度比 93.1%） 令和3年度 16,577人（前年度比 103.8%） 令和2年度 15,974人（前年度比 44.6%）		
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。		
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 36,697千円（37,504千円） ・ その他市が負担した費用 36,051千円（2,090千円） * 大規模改修に伴う費用		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）		
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年2月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会において各委員との意見交換を行い、提案内容や要望等を反映し、事業運営を行った。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》
<p>施設の目的や基本方針等、館内に掲示して利用者に周知した。職員に対しては、定例の会議の際に、年度ごとの重点目標などを職員間で共有し、必要事項に関しての情報共有を図った。</p> <p>施設の管理運営面では、指定管理料の執行状況を適宜確認し、委託業者による設備・保守点検と職員による定期的な館内巡回・設備点検実施により利用者が安全で快適な環境を維持できるように努めた。また、消耗品や事務用品などの在庫管理を徹底し、適正な予算管理に努めた。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等、必要な備品の確保に努めるとともに、開館中、定期的に各部屋の消毒・換気・ソーシャルディスタンス等職員が声を掛けながらの実施に加え、万が一コロナに罹患した場合のフローチャートの館内掲示等も行い感染拡大防止・安心提供に努める一方で、①コロナ罹患者に対する偏見（いわゆるコロナ差別）②広域特殊詐欺、を未然に防止する観点から人権啓発・強盗の手口に関する動画を繰り返し流すことで人権擁護及び防犯意識の向上に努めた。また、洪水時想定訓練を実施し洪水発生時には職員が速やかに対応できるように努めた。</p> <p>サービスの質の向上に向け、アンケートや管理運営委員会の他に、利用者中心による環境整備などマスク越しであるが利用者の方々と共同作業中に交わされるコミュニケーションで日常のニーズを汲み取ってきた。また、地域福祉の情報共有・連携強化のため沖野・上飯田の各町内会や館町内福祉委員会、沖野地域包括支援センター、沖野市民センター等各関係機関と連携していたことにより、利用者の安否確認の速やかな確保や、長期休館中の年間事業の会場確保へと繋がっている。また、月1回発行する広報紙を閲覧してサークルや教室の新規参加に繋がっていることから、コロナによる引きこもりから外出支援にも間接的に寄与することができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>施設の運営において、施設の目的や基本方針等、館内に掲示して利用者に周知し、職員に対しては、定例の会議の際に、年度ごとの重点目標などを職員間で共有し、必要事項に関しての情報共有を図っており、適切に運営している。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等、必要な備品の確保に努めるとともに、開館中、定期的に各部屋の消毒・換気・ソーシャルディスタンス等職員が声を掛けながらの実施に加え、万が一コロナに罹患した場合のフローチャートの館内掲示等も行い、感染拡大防止に努めている。また、洪水時想定訓練を実施し洪水発生時には職員が速やかに対応できるように努める等、リスク管理が適切になされている。</p> <p>サービスの質の向上については、アンケートや管理運営委員会の他に、利用者中心による環境整備など利用者と共同作業中に交わされるコミュニケーションで日常のニーズを汲み取り、運営に反映している。また、地域福祉の情報共有・連携強化のため沖野・上飯田の各町内会や館町内福祉委員会、沖野地域包括支援センター、沖野市民センター等各関係機関と連携していたことにより、利用者の安否確認の速やかな確保や、長期休館中の年間事業の会場確保へと繋がっていることも評価できる。</p> <p>そのほか、月1回発行する広報紙からサークルや教室の新規参加に繋がっており、外出支援にも間接的に寄与することができていること等、地域福祉の発展に向け積極的に取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課